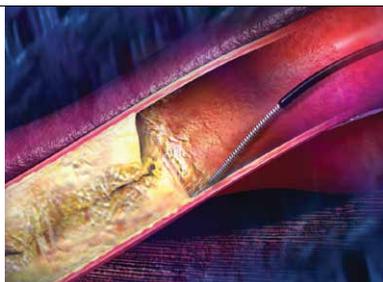


## 末梢動脈疾患 / 血管損傷への留置手順

1

### ガイドワイヤー アクセス

ガイドワイヤーで、適切な病変へのアクセスを確保する



2

### 前拡張

適切なサイズのパルーンを用いて病変部のみ前拡張を行う

注意：このステップは血管損傷治療時には必要としない



3

適切なデバイスサイズ（径・長さ）を選択する

4

### デバイス位置

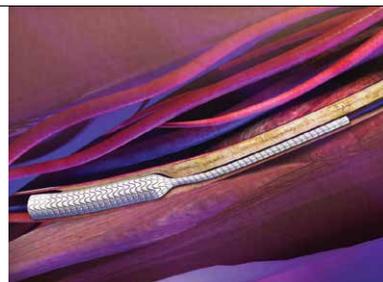
展開前に最初のランディングゾーンを確認する



5

### デバイス展開

展開用ノブをスムーズな動作でゆっくり引き抜く



6

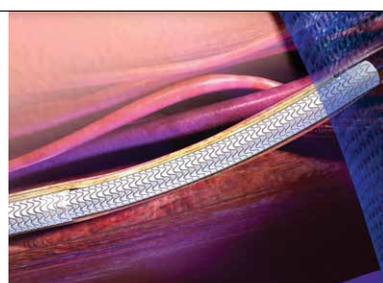
### 後拡張

後拡張はデバイス内で十分にバルーニングを行う



7

中枢側と末梢側エッジを  
- 狭窄・閉塞治療時は少なくとも1 cm  
- 血管損傷治療時は少なくとも2 cm  
健全血管に留置する



## サイジング表

ガイドワイヤー径：0.014 inch/0.018 inch 浅大腿動脈狭窄・閉塞・ステント内再狭窄/血管損傷用途

ステント グラフト径* (mm)	推奨血管径† (mm)	ステント グラフト長 (cm)	イントロデューサー シース径 (Fr)	後拡張 バルーン拡張径 (mm)	カテーテル 有効長
5	4.0-4.7	2.5, 5, 10, 15, 25‡	6	5	120 cm
6	4.8-5.5	2.5, 5, 10, 15, 25‡	6	6	
7	5.6-6.5	2.5, 5, 10, 15, 25‡	7	7	
8	6.6-7.5	2.5, 5, 10, 15, 25‡	7	8	

\* 公称値

† 血管径より5-20%大きいステントグラフトサイズを選択すること

‡ 浅大腿動脈狭窄・閉塞・ステント内再狭窄のみ

ガイドワイヤー径：0.035 inch 血管損傷用途

ステント グラフト径§ (mm)	推奨血管径   (mm)	ステント グラフト長 (cm)	イントロデューサー シース径 (Fr)	後拡張 バルーン拡張径 (mm)	カテーテル 有効長
9	7.6-8.5	5, 10	8	9	120 cm
10	8.6-9.5	5, 10	8	10	
11	9.6-10.5	5, 10	10	12¶	
13	10.6-12.0	5, 10	10	14¶	

§ 公称値

|| 血管径より5-20%大きいステントグラフトサイズを選択すること

¶ 11 mm、13 mm 径デバイスへの8 atmを超える後拡張を行わないこと

### [適応]

#### ■ 血管損傷治療：

対照血管径4.0-12.0 mmの胸部・腹部・骨盤内の動脈（大動脈、冠動脈、腕頭動脈、頸動脈、椎骨動脈及び肺動脈を除く）に外傷性又は医原性血管損傷が生じ、止血困難な血液漏出のある患者の緊急処置

#### ■ 浅大腿動脈の症候性末梢動脈疾患：

対照血管径4.0-7.5 mmの浅大腿動脈に、対象病変長10 cm以上の病変がある患者、またはステント内再狭窄病変がある患者の血流を改善する目的で使用する

販売名：ゴア® バイアバーン® ステントグラフト 承認番号：22800BZX00070000 一般的名称：ヘパリン使用中心循環系ステントグラフト

ゴア、GORE、Together, improving life、バイアバーン、VIABAHNおよび記載のデザイン（ロゴ）は、W. L. Gore & Associatesの商標です。

© 2024 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 24PL3045-JA01 NOVEMBER 2024

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 **日本ゴア合同会社**  
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル  
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 goremedical.com/jp

